

食品安全研究会

【食品微生物研究部会】

1, 2 月	<p>2010 年度活動計画の具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究 10 年度への参画の具体化（メール等による意見交換）。 ・毒性学教育講座（食品リスク研究部会と共催） ・第 9 回開催（1/18, 14:00～17:00, 講師：鎌滝先生） <p><次回部会全体会議：3/3, 13:00～ 新規テーマの具体的な進め方、厚生労働科学研究の議論を予定></p>
3, 4 月	<p>2010 年度活動内容の議論</p> <p>部会全体会議（3/3, 13:00～16:00）、国立衛生研・春日先生訪問（4/13, 15:00～17:00）、缶詰協会・駒木所長への講演依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究：参加継続。取り組み内容は後日具体化。 ・毒性学教育講座：講座内容を製本化する。 ・新規テーマ 微生物試験法のグローバル動向に関する情報発信 春日先生を講師役として勉強会をスタートさせる（7 月予定）。 ・新規テーマ 食品・飲料の危害微生物に関する情報発信 駒木氏講演会を開催して情報収集を開始する（5/20 予定） <p>毒性学教育講座（食品リスク研究部会と共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 10 回開催（4/8, 14:00～16:00, 講師：鎌滝先生） <p>次回部会全体会議：5/20, 15:00～17:00 を予定</p>
5, 6 月	<p>部会全体会議（5/20、15:30～17:00）</p> <p>2010 年度活動内容の議論と具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日先生（国立衛生研）講演会の具体化 日時：7/22（木）15:00～17:00 内容・演題も決定 ・4 活動テーマの運営方法の具体化 各テーマの推進責任者を決定 <p>新テーマの活動の一環として講演会開催（5/20、13:00～15:00）</p> <p>演者：駒木勝氏（日本缶詰協会所長）、参加者：44 名</p> <p>毒性学教育講座（食品リスク研究部会と共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 11 回開催（6/28、14:00～17:00, 講師：高橋道人先生） <p>次回部会全体会議：7/22、13:00～14:30 を予定</p>
7, 8 月	<p>部会全体会議（7/22, 13:00～14:15, 17:00～17:30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2010 年度新規 2 テーマ（微生物試験のグローバル動向、食品・飲料の危害微生物情報）の活動内容の具体化 <p>新テーマの活動の一環として講演会開催（7/22, 15:00～17:00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演者：春日文子氏（国立衛生研究室長）、参加者：33 名 <p>毒性学教育講座（食品リスク研究部会と共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 12 回開催（8/2, 14:00～17:00, 講師：高橋道人先生） <p>次回部会全体会議：11/2 を予定</p>
9, 10 月	<p>部会会議（テーマ推進責任者打合せ；9/10, 15:00～17:00）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年度新規 2 テーマ（微生物試験のグローバル動向、食品・飲料の危害微生物情報）の今後の進め方の議論と具体案策定 ・ 次回全体会議・講演会（カゴメ様にて 11/2 予定）の具体化 ・ 毒性学教育講座（食品リスク研究部会と共催） ・ 第 13 回開催（9/13, 14:00～17:00, 講師：高橋道人先生） ・ 第 14 回開催（10/18, 14:00～17:00, 講師：高橋道人先生） <p>次回部会全体会議：11/2、1/11（11 年）を予定</p>
11, 12 月	<p>部会全体会議（11/2, 15:30～16:15, at カゴメ様（那須））</p> <p>新規 2 テーマの具体案策定と工場見学の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E. sakazakii のレポートを題材に雑誌会形式で勉強会実施。 ・ 情報量が少ない好気性有孢子細菌について文書化・出版。 <p>微生物試験の情報発信に関する勉強会（11/2, 16:15～17:00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E. sakazakii レポート（FAO/WHO2006）についての第一回勉強会を春日先生ご出席のもとで開催。 <p>危害微生物の情報発信に関する打合せ（12/22, 15:00～17:00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体構成、章立て、記述内容などの具体案を作成。 <p>毒性学教育講座（食品リスク研究部会と共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 15 回開催（12/6, 14:00～17:00, 講師：林真先生） <p>講演会の実施（11/2, 13:00～15:00, at カゴメ様（那須））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 春日先生：演題「食品微生物制御の新たな動向」 ・ ILSI メンバー（池本氏、中山氏）：食品危害微生物に関する最新情報について <p>次回部会全体会議：1/11 を予定</p>

【食品リスク研究部会】

<p>1, 2 月</p>	<p>10年第1回運営会議開催 (2/15, 13:30 ~ 16:30, 於ILSI事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品汚染物質に関わる評価情報の収集について JECFA, Codexによる汚染物質評価情報のリスト化を行い、議題に応じて内容を深く追うこととした。 ・汚染物質評価の勉強会開催について 取り上げる議題は第72回JECFAの内容およびIARC, Codexにおける評価とし、具体案を検討することとした。 ・毒性学教育講座について 毒性学教育講座 (食品微生物研究部会と共催) 第9回開催 (1/18, 14:00 ~ 17:00, 於サントリー) <p>講師：北海道大学名誉教授 鎌滝哲也先生 テーマ：薬物代謝の基礎 (第3回)、参加者 32名</p> <p><次回運営会議：4/12, 13:30 ~ 16:30 (於 ILSI 事務局) ></p>
<p>3, 4 月</p>	<p>10年第2回運営会議開催 (4/12, 13:30 ~ 17:00, ILSI事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品汚染物質に関わる評価情報の収集 第72回JECFAのサマリーレポート、IARCに関する食安委セミナー、食安委のリスク評価進捗について共有化した。 ・リスクアセスメントにおける許容量評価の手法の確認 ・毒性学教育講座についての進捗報告 リスク評価に関する部内勉強 Food and Chemical Toxicology 48 (2010) Supplementで特集されたMOE手法の解説および評価事例について把握するため、総論を次回の部会までにメンバーで分担し日本語要約することとした。 <p>毒性学教育講座 (食品微生物研究部会と共催) 第10回開催 (4/8, 14:00 ~ 15:30, かながわ女性センター)</p> <p>講師：北海道大学名誉教授 鎌滝哲也先生 テーマ：生活習慣病の予防、参加者 25名</p> <p><次回運営会議：4/12, 10:00 ~ 12:00 (サントリー) ></p>
<p>5, 6 月</p>	<p>10年第3回運営会議開催 (6/28, 10:00 ~ 12:00, サントリー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「遺伝毒性発がん物質のMOEアプローチ (Benford D. <i>et al</i>, <i>Food Chem. Toxicol.</i> 2010)」について、メンバーで分担し和訳した内容を確認した。 ・リスクアセスメントにおける許容量評価の手法レジュメ内容の確認。 ・汚染物質評価に関する関連事項の共有化 毒性学教育講座 (食品微生物研究部会と共催) 第11回開催 (6/28, 14:00 ~ 17:00, サントリー) <p>講師：病理ピアレビューセンター 高橋道人先生 テーマ：化学物質の毒性についての考え方、参加者 30名</p> <p><次回運営会議：8/2, 10:00 ~ 12:00 (サントリー) ></p>
<p>7, 8 月</p>	<p>10年第4回運営会議開催 (8/2, 10:00 ~ 12:30, 於サントリー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「遺伝毒性発がん物質のMOEアプローチ (Benford D. <i>et al</i>, <i>Food Chem. Toxicol.</i> 2010)」について、翻訳版のILSI誌への掲載、および国立衛研・広瀬明彦先生へ監修を依頼することで合意した。 ・リスクアセスメント手法に関する勉強会開催を広瀬明彦先生に依頼した。10/1に先生を訪問予定。勉強会は11/1開催予定。

	<p>毒性学教育講座（食品微生物研究部会と共催）第12回開催 （8/2, 14:00～17:00, 於サントリー）</p> <p>講師：病理ピアレビューセンター 高橋道人先生 テーマ：日本人が活躍した発がん研究、参加者21名</p> <p><次回運営会議：9/13, 10:00～12:30, 於サントリー></p>
9, 10月	<p>10年第5回運営会議開催（10/18, 10:55～12:55, 於ILSI Japan事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会メンバーで作成中である資料「遺伝毒性発がん物質のMOEアプローチ (Benford D. <i>et al</i>, <i>Food Chem. Toxicol.</i> 2010)日本語訳」、「リスク評価の用語説明」、「評価指標一覧」のアウトプットについて議論し、ILSI Japan HPへ一括掲載、紹介文をILSI誌に投稿することに決定した。 国立衛研・広瀬明彦先生訪問（坂間、藤井、堀） ・11/1に開催する部内勉強会に向けての事前打ち合わせ。併せて上記資料の監修および先生よりILSI誌への投稿について打診、承諾いただいた。 <p>毒性学教育講座（食品微生物研究部会と共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第13回開催（9/13, 14:00～17:00, 於サントリー） 講師：病理ピアレビューセンター 高橋道人先生 テーマ：カビ毒（発がん性問題を中心として）、参加者30名 ・第14回開催（10/18, 14:00～17:00, 於サントリー） 講師：病理ピアレビューセンター 高橋道人先生 テーマ：発がん物質をどのように見つけるか？そのリスクをどのように評価するか？、参加者25名 <p><次回運営会議：11/1, 13:00～14:30, 於ILSI Japan事務局></p>
11, 12月	<p>リスクアセスメント評価指標に関する資料をメンバーで分担し作成中（「遺伝毒性発がん物質のMOEアプローチ (Benford D. <i>et al</i>, <i>Food Chem. Toxicol.</i> 2010)日本語訳」、「リスク評価の用語説明」、「評価指標一覧」）</p> <p>10年第6回運営会議開催（11/1, 13:00～14:30, 於ILSI Japan事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・の資料のHP一括掲載に向けての段取り確認 <p>勉強会開催（11/1, 15:00～17:30, 於ILSI Japan事務局、14名参加） 講師：国立医薬品食品衛生研究所 広瀬明彦先生 テーマ：食品のリスクアセスメントにおける評価指標</p> <p>毒性学教育講座（食品微生物研究部会と共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第15回開催（12/6, 14:00～17:00, 於サントリー、30名参加） 講師：食品農医薬品安全性評価センター 林真先生 テーマ：遺伝毒性（変異原性） <p><次回運営会議：1/17, 10:00～12:30, 於サントリー></p>

【食品アレルギー研究部会】

1, 2 月	医療機関との共同研究、食物アレルギー患者への負荷試験データの統計学的解析（最大無作用量の推定）を継続中。
3, 4 月	医療機関との共同研究：提供を受けた食物アレルギー患者への負荷試験データについて統計的解析を進めた。医療機関の小児食物アレルギー専門医を訪問し、解析結果について意見を伺った。
5, 6 月	医療機関との共同研究：提供を受けた食物アレルギー患者への負荷試験データについて統計的解析を進めた。
7, 8 月	EU の資金提供により EU 加盟国およびその他の国々を含めて 2005 年～2009 年に食品アレルギーに関する調査研究プロジェクト“Euro Prevall”が実施された。このプロジェクトの概要と報告書（文献）について部会員へ紹介を行った。 医療機関との共同研究：提供を受けた食物アレルギー患者への負荷試験データについて統計的解析を進めた。
9, 10 月	部会会議（9/8、15:00-17:00、ILSI Japan 事務局会議室、参加者 9 名） ・最近の国内、海外の食品アレルギー関連情報 ・EU の“Euro Prevall”プロジェクトの概要と文献について ・医療機関との共同研究：負荷試験データの統計的解析結果 “Euro Prevall”プロジェクトの文献翻訳作業を進めた。（各メンバーで分担翻訳）
11, 12 月	“Euro Prevall”プロジェクトの文献について各メンバーで分担して翻訳作業を進め、終了した。 2010 年 10 月に行われた ILSI Europe の食物アレルギーシンポジウムについて情報を入手した。

ILSI Japan 活動報告 <2010>

食品安全研究会

【香料研究部会】

1, 2 月	活動なし
3, 4 月	
5, 6 月	特記すべき活動なし
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

ILSI Japan 活動報告 <2010>

食品安全研究会

【食品安全調査研究部会】

1, 2 月	活動なし
3, 4 月	
5, 6 月	特記すべき活動なし
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

ILSI Japan 活動報告 <2010>

食品安全研究会

食品安全研究会全体

1, 2 月	2009 ~ 2010 食品安全研究会部会長会議開催 (2/2 13:30-16:30) ・各部会の 2009 活動状況、2010 の活動計画の討議・共有化を実施。
3, 4 月	
5, 6 月	TTC について ILSI 本部 Research Foundation との共催シンポジウム開催の検討を開始している。 香料部会の岡村部会長を中心に、リスク研究部会のサポートのもと進めることとし、福島昭治理事にコーディネイターをお願いした。年内開催が目標。
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

ILSI Japan 活動報告 <2010>

バイオテクノロジー研究会

【植物研究部会】

1, 2 月	
3, 4 月	第 1 回幹事会開催。今年度の方針討議：具体案は未定。状況を見る。部会を 6 月中には開催。微生物分科会の検討。
5, 6 月	2011 年度開催予定の第 6 回「栄養とエイジング国際会議；ILSI Japan 30 周年記念シンポジウム」に、バイオ部会として参画するかを検討するための、第 1 回全体会議が開催され、部会長が出席した（6 月）。
7, 8 月	2011 年度開催予定の第 6 回「栄養とエイジング」国際会議；ILSI Japan 30 周年記念シンポジウム」第 2 および第 3 回プログラム会議に、バイオ部会として参画するために部会長が出席した（7/21 & 8/10）。
9, 10 月	
11, 12 月	

* 環境リスク評価分科会

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

* アレルギー性タンパク質の分析方法分科会

1, 2 月	
3, 4 月	国立医薬品食品衛生研究所の手島部長訪問：現状を確認し、バイオ部会での講演を依頼。
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

* 組換え体検知法分科会

1, 2 月	
3, 4 月	農水省・FAMIC へ、2 月 12 日開催のポスト ISOGM 検知ワークショップの報告書作成・送付。
5, 6 月	農水省・FAMIC の久田課長に、2 月 9～11 日開催の ISOGM 検知ワークショップの記事をご執筆いただいた（「イルシー」誌 101 号）。
7, 8 月	

9, 10 月	
11, 12 月	

ILSI Japan 活動報告 <2010>

バイオテクノロジー研究会

バイオテクノロジー研究会全体

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none">・2010年2月9-11日開催の第2回 ISO および AOAC 共催 Sampling Detection Method (ISO/TC34/SC16) 国際会議に出席。・2010年2月9-11日開催の第2回 ISO および AOAC 共催 Sampling Detection Method (ISO/TC34/SC16) 国際会議の ILSI Japan 主催、IFBiC および CLI 共催、農林水産省、FAMIC、食品総合研究所後援ポストワークショップ「GMO 検知技術の国際動向」2月12日に開催
3, 4 月	消費者庁とのコンタクトを検討予定：表示拡大について。
5, 6 月	表示拡大について、消費者庁とのコンタクト先が判明。
7, 8 月	第1回部会開催(8/2)； <ul style="list-style-type: none">・アレルギー性タンパク質の分析法に関する2009年開催の HESI シンポジウムの報告。・リスクコミュニケーションとしての出版物発刊の提案。
9, 10 月	第2回部会開催(8/23)；リスクコミュニケーションとしての出版物原稿の内容検討。 <ul style="list-style-type: none">・2011年度開催予定の第6回「栄養とエイジング」国際会議；ILSI Japan 30周年記念シンポジウムの第4, 5 および6回プログラム会議に、バイオ部会として参画するために部会長が出席した(8/31, 9/15 & 10/15)。・「遺伝子組換え食品を理解する」を発刊(10/7)。
11, 12 月	・第3回部会開催(11/6)；2010年度の活動報告および2011年度の活動計画検討 <ul style="list-style-type: none">・「遺伝子組換え食品を理解する」を増刷。

ILSI Japan 活動報告 <2010>

栄養健康研究会

【栄養研究部会】

1, 2 月	2011 年 10 月頃に ILSI Japan の 30 周年記念事業を兼ねて行う予定の第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の開催に向けた活動を徐々に開始する。
3, 4 月	2011 年 10 月頃に ILSI Japan の 30 周年記念事業を兼ねて行う予定の第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の開催に向けて活動を開始する予定。
5, 6 月	2011 年に ILSI Japan の 30 周年記念事業を兼ねて行う予定の第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の開催に向けてプログラム委員会等の活動を開始した。 2011 年 9 月 27 ~ 29 日開催を目標に進行させる予定。
7, 8 月	2011 年に ILSI Japan の 30 周年記念事業を兼ねて行う予定の第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の開催に向けてプログラム委員会等の活動を開始した。プログラムの完成に向け、検討中。 2011 年 9 月 27 ~ 29 日開催を目標に検討中。
9, 10 月	2011 年に ILSI Japan の 30 周年記念事業を兼ねて行う予定の第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の開催に向けてプログラム委員会を 6 回開催した。プログラムの完成に向けて講師への打診を進行させた。東京大学内の弥生講堂等にて、2011 年 9 月 28 ~ 30 日の 3 日間開催予定。
11, 12 月	2011 年に ILSI Japan の 30 周年記念事業を兼ねて行う予定の第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の開催に向けてプログラム委員会を 6 回開催した。プログラムの完成に向けて最終調整の会合を実施した。東京大学内の弥生講堂一条ホールにて、2011 年 9 月 28 ~ 30 日の 3 日間開催予定。

*肥満タスクフォース

1, 2 月	新規テーマとして、「バランスの良い食事研究」 - メタボ、若年女性、高齢者を対象として - の活動を今後、開始する計画を立てた。
3, 4 月	新規テーマとして、「バランスの良い食事研究」 - メタボ、若年女性、高齢者を対象として - の活動を今後開始する予定。
5, 6 月	新規のテーマを開始予定であるが、今回特に報告なし。
7, 8 月	特に報告なし。
9, 10 月	報告なし。
11, 12 月	活動報告なし。

栄養健康研究会

【炭水化物研究部会】

1, 2 月	GR プロジェクトと、2 つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進めてきた。ダイエット分科会は活動のまとめとして投稿した論文の掲載をもって終了した。
3, 4 月	GR プロジェクトと、2 つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進めてきた。ダイエット分科会は活動のまとめとして投稿した論文の掲載をもって終了した。
5, 6 月	GR プロジェクトと分科会を中心に活動してきたが、分科会の活動は終了した。
7, 8 月	GR プロジェクトが活動中。
9, 10 月	GR プロジェクトが活動中。
11, 12 月	GR プロジェクトが活動中。

***GR プロジェクト**

1, 2 月	GR リング試験とりまとめ継続中。
3, 4 月	GR リング試験とりまとめ継続中。
5, 6 月	GR リング試験とりまとめ継続中。
7, 8 月	GR リング試験とりまとめ実施中。
9, 10 月	GR リング試験とりまとめ実施中。
11, 12 月	GR リング試験とりまとめ実施中。

***果糖分科会**

1, 2 月	果糖分科会の活動のまとめとしての総説が「日本食品新素材研究会誌」2009 年 12 月 15 日発行の同誌に掲載された。これに伴い、会員へ別刷を配布した。
3, 4 月	日本食品新素材研究会誌」2009 年 12 月 15 日発行の同誌に掲載され、これに伴い、会員等へ別刷を配布した。 これにより果糖分科会活動終了。
5, 6 月	分科会としての活動終了。
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

【茶類研究部会・茶情報分科会】

1, 2 月	茶情報分科会実施。原先生による南部アフリカの茶事情のご紹介、ILSI 茶成分データベース構築における武田先生、原先生とのコラボ進捗の件および第四回国際会議お茶学術会議への参加対応の件について議論。三井農林鈴木様による“茶の取引に関わる標準化の世界的な潮流”のご紹介(2/5)。
3, 4 月	茶情報分科会実施。第4回国際 O-CHA 学術会議への参加に関し、スタッフ様によるご説明に続き ILSI Japan セッションの構成内容について議論。お茶に関する武田先生、原先生との共同研究の進捗報告、O-CHA 学術会議内容の「イルシー」誌における報告の進め方について確認。(4/16)。
5, 6 月	茶情報分科会実施。第4回国際 O-CHA 学術会議、ILSI Japan セッションの内容(セッションタイトル、講演者等)について議論。お茶に関する武田先生、原先生との共同研究の進捗(武田先生茶葉試料の保管システムと ILSI Japan への提供システム、試料の整理状況、ILSI Japan 茶葉試料の保管先変更等)について報告(6/18)。
7, 8 月	茶情報分科会実施。第4回国際 O-CHA 学術会議、ILSI Japan セッションの準備状況、役割分担について確認。お茶に関する武田先生、原先生との共同研究について、武田先生収集茶葉リストについて概要報告(8/27)。
9, 10 月	10月14日、第11回茶情報分科会を実施、第4回 ICOS(国際お茶学術会議)における ILSI Japan セッションの準備状況、発表内容の確認を行った。 10月27日、第4回 ICOS にて“Tea of the World and Activity of the ILSI Japan”のタイトルにて、4名の国内外の講師をお迎えして ILSI セッションを開催した。
11, 12 月	第4回国際お茶学術会議(ICOS)、ILSI Japan Workshop の内容について「イルシー」誌への報告準備を行った。

【日本の食生活と肥満研究部会】

1, 2 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。
3, 4 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。
5, 6 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。
7, 8 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。
9, 10 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。
11, 12 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。 今後モノグラフ作成に向けて検討を開始する。

* 発酵製品の多様性分科会

1, 2 月	継続中
3, 4 月	継続中。
5, 6 月	日本調理科学会誌、Vol. 43, No. 2, 131-135 (2010) に「日本食からみる発酵食品の多様性と日本人の健康-肥満を中心に」が掲載された。
7, 8 月	日本調理科学会誌、Vol. 43, No. 2, 131-135 (2010) に論文が掲載された。
9, 10 月	日本調理科学会誌、Vol. 43, No. 2, 131-135 (2010) に論文が掲載された。
11, 12 月	日本調理科学会誌、Vol. 43, No. 2, 131-135 (2010) に論文が掲載された。

* 脂質の種類分科会

1, 2 月	オレオサイエンス雑誌の特集号への投稿の形で継続中。
3, 4 月	継続中（「オレオサイエンス」第 10 号掲載に向け）。
5, 6 月	オレオサイエンス雑誌へ受理され 9 月号に掲載予定。
7, 8 月	オレオサイエンス雑誌に受理され、2010 年 10 月号に掲載予定。
9, 10 月	オレオサイエンス雑誌に受理され、2010 年 10 月号、383-392 に掲載された。
11, 12 月	オレオサイエンス雑誌に受理され、2010 年 10 月号、383-392 に掲載された。

* 食事の量分科会

1, 2 月	継続中
3, 4 月	継続中。
5, 6 月	日本調理科学会誌への掲載に向け継続中。INTERMAP Study のまとめ継続中。
7, 8 月	日本調理科学会誌への掲載に向け継続中。INTERMAP Study のまとめ継続中。
9, 10 月	日本調理科学会誌への掲載に向け継続中。INTERMAP Study のまとめ継続中。
11, 12 月	日本調理科学会誌への掲載に向け継続中。INTERMAP Study のまとめ継続中。

ILSI Japan 活動報告 < 2010 >

食品機能性研究会

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none">・ 第 3 回食品機能生研究会部会開催準備・ 食品機能性研究会活動報告をイルシー誌へ寄稿（末木）
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none">・ 第 1 回食品機能生研究会部会幹事会開催。今年度方針の検討。6 月 2 日に第 4 回研究部会開催予定。
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none">・ 第 4 回研究部会開催（6/2）。
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none">・ 第 5 回研究部会開催（7/20）；上野川修一理事と特定保健用食品の“免疫能”表示に関する対応について懇談等。
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none">・ 第 6 回研究部会開催（10/6）；EU モノグラフ“Functional Foods ; From Science to Health and Claims” 翻訳版の発刊作業につき討議。分科会活動についての意見交換等。・ 幹事会は、2 回開催（9/3 & 10/25）。
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none">第 7 回研究部会開催（11/25）；EU モノグラフ“Functional Foods ; From Science to Health and Claims” 翻訳版の最終チェック。・ 分科会活動開始にあたって、3 分科会を決定。

ILSI Japan 活動報告 <2010>

CHP

CHP全体

1, 2 月	
3, 4 月	ニュースレター（日本語版）発行（No.12） 3/12 2009 年度活動報告会
5, 6 月	
7, 8 月	7 月 ハノイ駐在員の募集開始
9, 10 月	10/25 平成 22 年度企業連絡会中間報告会 ニュースレター（日本語版）発行（No. 13）
11, 12 月	12 月 ニュースレター（英語版）発行（No. 13）

【Project PAN (Physical Activity and Nutrition)】

<p>1, 2 月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1/26 ILSI 本部総会 Japan Session にて「Progress of Project PAN in Japan」を 発表 (発表者: 木村美佳、プエルトリコ) ・ 2/22 ILSI Japan 第 5 回ライフサイエンスシンポジウムにて「Project PAN の活動 について」を発表 (発表者: 木村美佳、昭和女子大学) ・ 2/22 墨田区介護予防サポーター養成講座「介護予防概論」講義 (講師: 木村美佳) <p>テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>1/8, 12, 13, 14, 21, 26 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 6 会場)</p> <p>2/4, 5, 9, 10, 18, 23 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 6 会場)</p> <p>2/8-9 益田市介護予防リーダー養成講習 (講師: 木村美佳、島根・益田市)</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>3/3-5 益田市介護予防リーダー養成講習 (講師: 木村美佳、島根・益田市)</p> <p>4/1 平成 22 年度墨田区介護予防事業委託「すみだテイクテン」契約締結</p> <p>4/28 NHK「ためしてガッテン」(熊谷先生出演)において、「TAKE10!®」冊子 の中の 10 品目チェックシートを紹介</p> <p>リズムテン (LiSM10!®)</p> <p>4/11 第 3 期介入研究に関する論文「Effect of a worksite-based intervention program on metabolic parameters in middle-aged male white-collar workers: a randomized controlled trial」が <i>American Journal of Preventive Medicine</i> 誌にアクセプトされた</p> <p>4/21 事業推進報告会 (出席者: 丸山千寿子教授、荒尾孝教授、ニチレイ・益田氏、 石川氏他 9 名 於: ILSI Japan 会議室)</p>
<p>5, 6 月</p>	<p>テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>5/18, 20, 21, 25, 26, 27 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 6 会場)</p> <p>6/15, 17, 18, 22, 23, 24 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 6 会場)</p> <p>6/2 江戸川総合人生大学公開講座「食べることは生きること」 (講師: 木村美佳、江戸川区船堀)</p> <p>6/18 読売新聞朝刊「暮らし教育」欄の「健康プラス」コラムに TAKE10!®につい ての記事と 10 食品群チェック表掲載</p> <p>6/22-24 益田市介護予防リーダー養成講習 (講師: 木村美佳、島根・益田市)</p> <p>リズムテン (LiSM10!®)</p> <p>6 月 <i>American Journal of Preventive Medicine</i> 誌 Volume 51, Issue 1, July 2010, p11-17 に第 3 期介入研究に関する論文「Effect of a worksite-based</p>

	intervention program on metabolic parameters in middle-aged male white-collar workers: a randomized controlled trial」を掲載
7, 8 月	<p>テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>7/13, 16, 21, 22, 27, 29 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 6 会場)</p> <p>7/13~14 益田市介護予防リーダー養成講習 (講師: 木村美佳、島根・益田市)</p> <p>8/11 墨田区広報誌「すみだ」で、22 年度「すみだテイクテン」初心者教室の募集開始</p> <p>8/24 NHK「おはよう日本」取材 (高齢期の栄養失調に関連してテイクテンの取り組みの取材)</p> <p>8/27 NHK「おはよう日本」7 時台の特集「高齢者の栄養失調」で、事務局内の様子とともに、木村美佳へのインタビューと、TAKE10!®冊子、10 の食品群チェック表を紹介</p> <p>リズムテン (LiSM10!®)</p> <p>8/6 LiSM10! カウンセラーマニュアル DVD 撮影 (講師: 早稲田大学大学院 荒尾孝教授、ILSI Japan 会議室)</p> <p>8/26 LiSM10! カウンセラー研修会 (受講者 10 名、講師: 日本女子大学 丸山千寿子教授、ILSI Japan 会議室)</p>
9, 10 月	<p>テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>9/2, 3, 7, 8, 9, 14, 30 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 6 会場)</p> <p>9/10 墨田区高齢者福祉課主催 すみだテイクテン 栄養講演会 「最新研究が教える食事の秘訣～高齢者は肉も脂も食べよう～」 (講師: 熊谷修先生 東京・墨田区)</p> <p>9/11 第 57 回日本栄養改善学会学術総会 シンポジウム 講演「超高齢社会に対応した栄養施策」 “要介護を予防する ポピュレーションアプローチ<テイクテン活動>” (演者: 木村美佳、埼玉・坂戸市 女子栄養大学)</p> <p>9/14~15 岩国市社会福祉協議会錦支部 テイクテン介護予防 リーダー養成講習 (講師: 木村美佳、山口・岩国市)</p> <p>9/16, 21, 22, 28 「すみだテイクテン第 6 期講習会 (初心者向)」 (墨田区 5 会場)</p> <p>10/1, 5, 6, 7, 12, 15, 19, 21, 26, 27, 29 「すみだテイクテン第 6 期講習会 (初心者向)」 (墨田区 5 会場)</p> <p>10/5, 6, 7, 12, 28 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 6 会場)</p> <p>10/19~20 岩国市社会福祉協議会錦支部 テイクテン介護予防 リーダー養成講習 (講師: 木村美佳、山口・岩国市)</p> <p>10/28 第 69 回日本公衆衛生学会総会 ポスター発表 「寒冷過疎地域在住高齢者に対する通信介入が食習慣、運動行動 に及ぼす影響」 (東京国際フォーラム)</p> <p>リズムテン (LiSM10!®) 特になし</p>
11, 12 月	<p>テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>11/2, 9, 10, 11, 16, 19, 24, 25, 30 「すみだテイクテン第 6 期講習会 (初心者向)」 (墨田区 5 会場)</p>

	<p>11/2, 5, 9, 10, 11, 18「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p> <p>11/19~21 テイクテン通信教育 ベースライン調査(札幌医科大学・北海道札幌市)</p> <p>11/24 江戸川人生大学 介護・福祉学科講義「介護予防」(講師:木村美佳)(篠崎文化プラザ・東京都江戸川区)</p> <p>11/30 テイクテン普及のための講演「リーダー養成スキルアップ講座」(講師:木村美佳、津和野町・島根県)</p> <p>12/1~3 「テイクテン介護予防リーダー養成講座」(講師:木村美佳、岩国市錦町・山口県)</p> <p>12/3「すみだテイクテン第6期講習会(初心者向)」(すみだ中小企業センター・東京都墨田区)</p> <p>12/7, 8, 9, 10, 14, 16「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p> <p>12月 雑誌『ヘルスケアレストラン』12月号にすみだテイクテンに関する記事が掲載された</p> <p>リズムテン(LiSM10!®)</p> <p>特記事項なし</p>
--	--

【Project SWAN (Safe Water and Nutrition)】

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1/20 Industry Council for Development にて「Project SWAN -A community-based participatory approach in Vietnam」を公表（発表者：戸上、パリ） ・ 1/22 ILSI 本部総会 Branches meeting にて「Project Concept of Global SWAN - Is Project SWAN applicable to other countries」を公表（発表者：戸上、プエルトリコ） ・ 1/26 ILSI 本部総会 Japan Session にて「Project SWAN -A community-based participatory approach in Vietnam」を公表（発表者：戸上、プエルトリコ）
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> 3/25 JICA と NIN（ベトナム）の間で二国間協定覚書に署名 4/1 JICA と ILSI Japan の間で業務委託契約を締結、Project SWAN2 スタート。 4/8 Kickoff Meeting(MOH, NIN, Central Government による Policy making のための Working team、27 名、於: Hanoi) 4/27 Kickoff Meeting (Province, District, コミューンの health section からなる Support team の合同会議、35 名、於: Hanoi) 4/28 Kickoff Meeting (Namdinh 省の Support team、25 名、於: Namdinh)
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> 5/17~28 水処理施設の現地視察（竹花氏、Hanoi/ Namdinh） 6/8~17 IEC 現状調査（神馬先生、吉川氏、Hanoi/ Namdinh）
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> 7/12 進捗状況の確認視察（戸上、Hanoi） 7/26-30 JICA 地球ひろばによるプロジェクトサイトの視察（高梨、Hanoi） 8/23~9/4 サポートチームを対象とした技術活動のトレーニング（竹花氏、Hanoi/ Namdinh）
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> 9/20-24： サポートチームへの資機材の供与、進捗状況の確認（戸上、Hanoi & Nam Dinh） 9/21： 5 者(ベトナム国立栄養研究所、保健省、地方給水センター、ILSI、JICA ベトナム)による覚書署名（戸上、Hanoi） 9/17-19：プロジェクトの運営及び経理に関するトレーニング（Hanoi） 9/27-29：プロジェクトの運営及び経理に関するトレーニング（Nam Dinh） 10/12：コミュニティでのキックオフ・ミーティング（Ngu Hiep, Thanh Tri District） 10/15-16:コミュニティでのキックオフ・ミーティング(Trung Thanh, Minh Thuan, Vu Ban District)
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> 11/9, 12 2 箇所のコミュニティでのキックオフ・ミーティング（戸上・吉井、Dai Ang/Thanh Tri District, Phu Dien/Tu Liem District） 11/10 ナムディン省人民委員会とのキックオフ・ミーティング（戸上・吉井、Nam Dinh） 11/16~24 8 箇所のコミュニティで水処理施設調査・改修工事プランの検討（竹花・吉井、Phu Dien, Tay Mo/Tu Liem District 他） 11/19, 23 ハノイ PCERWASS とのミーティング（竹花・吉井、Hanoi） 11/25 2 箇所の District の人民委員会との水処理施設改修プランの検討（竹花・吉井、Thanh Tri District, Tu Liem District/Hanoi）

	<p>11/29~30 2 箇所のコミュニティでのフォーカス・グループ・ディスカッション(吉川・吉井、Trung Thanh/Vu Ban District 他)</p> <p>12/6~9 4 箇所のコミュニティでのキックオフ・ミーティング(吉井、Lien Ninh、Thanh Tri District 他)</p> <p>12/15~16 コミュニティでのフォーカス・グループ・ディスカッション(吉井、Tay Mo/Tu Liem District)</p>
--	--

【Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)】

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1/11~14 フィリピン鉄強化米プロジェクト中間評価会議を開催 (マニラ) ・ 1/23 ILSI 本部総会 Asian Branches meeting にて「Progress of Project IDEA」を発表(発表者: 戸上、プエルトリコ) ・ 1/25~30 マーケットトライアルの 24 か月後評価を実施(シエムリアップ、カンボジア) ・ 2/15~19 Aguilar 精米所にエクストルーダ機を設置。試運転、プレミックスの試作を実施(マニラ、フィリピン)
3, 4 月	<p>3 月 Philippines Premix 鉄強化疑似米のライン稼働</p> <p>4 月 Cambodia 鉄強化魚醤評価プログラム データ照合</p> <p>Vietnam 鉄強化米 ベースライン調査</p>
5, 6 月	<p>6/21 Mixing Tank の材質の違いによる魚醤の官能検査 (対象者: 38 人、Cambodia)</p> <p>6/22~23 魚醤と醤油において強化する鉄剤(2 種)の違いによる官能検査(対象者: それぞれ 90 人と 40 人、Cambodia)</p>
7, 8 月	<p>7/19 鉄強化米プロジェクト カンボジアにおける米の生産、流通、鉄強化米展開の可能性の現状調査 (Cambodia)</p> <p>7/20 鉄強化魚醤プロジェクト ワークショップ開催 (対象者: カンボジア政府、産業界 70 人、講師: 中西由季子先生、Cambodia)</p> <p>8/16~20 鉄強化米プロジェクト IEC 現状調査、現地精米所、工場視察(神馬征峰先生、Vietnam)</p>
9, 10 月	<p>10/2: 鉄強化魚醤 Project の 2 年間に亘るマーケットトライアルの結果を GAIN (Global Alliance for Improved Nutrition) の提案書にまとめて提出 (Cambodia)。</p> <p>9~10 月: 5 月より、ベトナム国立栄養研究所と共同で 6 ヶ月間の鉄強化米の実証試験を引き続き進行中 (Vietnam)。</p>
11, 12 月	<p>11 月 鉄強化米の実証試験結果を分析中 (Vietnam)。</p> <p>11/30~12/2 農水省 MAFF 事業の「鉄強化米拡大マーケットトライアル」(Zambales 州) について、日本の外部評価委員会開催 (Philippines)。</p>

ILSI Japan 活動報告 <2010>

国際協力委員会

1, 2 月	<p>2010 年度第 1 回委員会開催 (2/4 14:00-17:00) ILSI Japan</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総会報告 ・ EAP プロジェクト対応 <p>EAP Workshop (3/29) 開催準備。 次回委員会 3/4 開催 (14:00 ~ ILSI Japan)</p>
3, 4 月	<p>第 2 回国際協力委員会開催 (3/4)</p> <p>EAP 打ち合わせ会合 (3/15, 4/14)</p> <p>EAP Project Work Shop 開催 (4/29: ルポール麹町、163 名)</p> <p>EAP Project 最終報告書農水省提出 (4/1)</p>
5, 6 月	<p>第 5 回国際協力委員会開催 (5/25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回 BeSeTo 会合対応 ・ EAP プロジェクト第 2 期対応 ・ コーデックス委員会報告 (CCFL、CCCF) <p>第 6 回国際協力委員会開催 (6/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回 BeSeTo 会合 (8/11 ~ 12 北京) 対応 ・ EAP プロジェクト第 2 期対応 <p>シンポジウム「水分補給のサイエンス～これからの水分補給を考える～」を、ILSI Japan、ILSI North America 共催、(財)健康・体力づくり事業財団・健康日本 21 推進フォーラム・日本コカ・コーラ(株)後援にて開催。170 名を超す盛況さであった。</p>
7, 8 月	<p>第 7 回国際協力委員会開催 (7/28)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回 BeSeTo 会議準備 ・ EAP プロジェクト第 2 期対応 <p>第 8 回国際協力委員会開催 (8/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回 BeSeTo 会議報告 ・ EAP プロジェクト第 2 期 / 分析法の比較調査、国際ワークショップの開催 <p>第 2 回 BeSeTo 会議出席 (8/12 ~ 13)</p> <p>ILSI China Focal Point が北京で開催した会議に出席し、食品安全に関わる日本の動向について紹介。EAP プロジェクトを含め、同地域における ILSI 協力活動について討議した。</p>
9, 10 月	<p>第 9 回国際協力委員会開催 (9/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EAP プロジェクト第 2 期 / 調査票フォーマット作成 ・ 食品添加物に関する食品健康影響評価指針の英訳 <p>ILSI SEAR 訪問 (10/7)</p> <p>EAP プロジェクト第 2 期について打ち合わせるため、ILSI SEAR を訪問。調査票フォーマット、来年開催するセミナーの開催場所、準備手順、プログラム案などを確認した。</p> <p>第 10 回国際協力委員会開催 (10/18)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ILSI SEAR 打ち合わせ内容の報告

	EAP プロジェクト第 2 期 / プログラム案の承認、報告書のまとめ方、スケジュール確認
11, 12 月	

情報委員会

【情報委員会】

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 1 回 (2 月) ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討 ・「栄養学レビュー」誌 18 巻 2 号 (通巻 67 号) の発刊 18 巻 3 号 (通巻 68 号) の翻訳・監修・編集作業進行中 ・ニューズレター第 3 号発行
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 2 回 (3, 4 月) ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討 ・「栄養学レビュー」誌 18 巻 3 号 (通巻 68 号) の翻訳・監修・編集作業進行中 18 巻 4 号 (通巻 69 号) の翻訳作業進行中 ・ニューズレター第 4 号作成中
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 2 回 (5, 6 月) ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討 ・「栄養学レビュー」誌 18 巻 3 号 (通巻 68 号) の発刊。 18 巻 4 号 (通巻 69 号) の翻訳・監修・編集作業進行中 19 巻 1 号 (通巻 70 号) の編集委員会開催、翻訳作業進行中 ・ニューズレター第 4 号作成中
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 1 回 (7 月) ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討。 ・「栄養学レビュー」誌 18 巻 4 号 (通巻 69 号) の発刊。 19 巻 1 号 (通巻 70 号) の翻訳・監修・編集作業進行中。 ・ニューズレター第 4 号作成中。
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 2 回 (9, 10 月) ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討。 ・「栄養学レビュー」誌 19 巻 1 号 (通巻 70 号) の翻訳・監修・編集作業進行中刊。 19 巻 2 号 (通巻 71 号) の翻訳・監修作業進行中。 ・ニューズレター第 4 号発刊作成中。 ・ニューズレター第 5 号作成準備中。
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 1 回 (11 月) ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討。 ・「栄養学レビュー」誌 19 巻 1 号 (通巻 70 号) の発刊。 19 巻 2 号 (通巻 71 号) の翻訳・監修・編集作業進行中。 19 巻 3 号 (通巻 72 号) の翻訳作業進行中。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューズレター第4号発刊。 ・ニューズレター第5号作成中。
--	---

*** 編集部会**

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 100 号の発行。 ・101 号編集作業中。
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 101 号の編集作業中。
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 101 号の発刊。101 号の編集作業中。
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 102 号の発刊。103 号の編集作業中。
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 103 号, 104 号の編集作業中。
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 103 号発刊。 ・「イルシー」誌 104 号の編集作業中。 ・第6回「栄養とエイジング」国際会議・ILSI Japan30 周年セミナー1st サーキュラー作成支援。

【ILSI Japan 総会】

1, 2 月	<p>平成 22 年度通常総会が 2 月 22 日に開催された。</p> <p>1. 議長選任 出席した正会員から岩本茂夫氏が議長に選任された。</p> <p>2. 議事録署名人選出 議事録署名人として、大石進氏と岡村弘之氏が選任された。</p> <p>3. 審議の経過の概要および議決の結果</p> <p>第 1 号議案 平成 21 (2009) 年度事業報告書案承認の件 議案 1 資料「平成 21 (2009) 年度事業報告書案」に基づき事業報告を行い、採決に入り、同議案は承認された。</p> <p>第 2 号議案 平成 22 (2010) 年度事業計画書案承認の件 議案 2 資料「平成 22 (2010) 年度事業計画書案」に基づき事業計画が説明された。この中で、国際会議と ILSI Japan の 30 周年記念事業を兼ねて 2011 年に開催する第 6 回「栄養とエイジング」国際会議に対する会員の協力が呼びかけられ、採決に入り、同議案は承認された。</p> <p>第 3 号議案 平成 21 (2009) 年度決算報告書案承認の件 議案 3 資料「平成 21 年度特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書、同貸借対照表、同財産目録および収益事業損益計算書」に基づく決算報告の後、監査報告があり採決を行った結果、同議案は承認された。</p> <p>第 4 号議案 平成 22 (2010) 年度収支予算書案承認の件 議案 4 資料「平成 22 年度収支予算書案」に基づいて予算案の内容が説明され、この予算案に関しては 6 月を目標に財務的継続性を意識して ILSI Japan の活性化ワーキンググループで予算内容を見直すことを条件で理事会の承認を得たことが報告され、採決に入り同案は承認され、議長がこれをもって審議事項は全て終了した事を宣言した。</p> <p>4. 報告事項 平成 21 年度の定款の変更に伴い、2 月 16 日に開催された理事会で下記の役員が選出されたことが報告された。 (敬称略)</p> <p><u>理事</u> (再任) 岩元 睦夫、上野川 修一、木村 修一、桑田 有、 小林 修平、坂田 隆、戸上 貴司、西山 徹、福島 昭治 (新任) 高瀬 光徳、辻村 英雄、益田 和明、松山 旭、安川 拓次</p> <p><u>監事</u></p>
--------	---

	町田千恵子（再任） 青山敏明（新任）
3, 4月	
5, 6月	
7, 8月	
9, 10月	
11, 12月	平成 23 年度 ILSI Japan 通常総会を平成 23 年 2 月 22 日（火）10:00 より昭和女子大学 80 年館オーロラホールで開催し、昼食後引き続き、同ホールで Life Science Symposium を開催予定である。

【事務局】

1, 2月	特になし
3, 4月	特になし
5, 6月	ILSI 本部の会長 Dr. Michael Knowles 氏が来日、6 月 7 日 ILSI Japan 事務所にて会合、ILSI Japan の活動を紹介するとともに今後の協力体制等の意見交換を行った。
7, 8月	特になし
9, 10月	平成 22 年 10 月 1 日より日清オイリオグループ株式会社の 篠原久実氏を本機構へ研修員としてお迎えし、下記の業務をお手伝い頂くことになりました。 <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産省平成 22 年度東アジア食品産業海外展開支援事業の推進 ・ILSI 本部の国際組織委員会、特に FAO、WHO 関連情報のフォローアップ ・コーデックス会議（表示部会および栄養・特殊用途食品部会等）に関する情報収集 ・食品安全研究会の研究部会活動の支援 ・東京大学寄付講座 ・その他 ILSI Japan 事務局業務（第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の準備を含む）の支援
11, 12月	特になし